

# おぐい



2008

9

NO.647

● 広報



## ～ 本番さながらの朝稽古 ～

8月14日から21日まで、第5回大相撲東関部屋小国合宿が行われました。高見盛関や潮丸関ら力士たちは、本番さながらの稽古に、滝のような汗を流していました。また合宿中は、福祉施設や保育施設の訪問や、町民交流会などに参加し、1年ぶりの再会に笑顔があふれていました。

シリーズ  
⑤



白い森の  
散歩道

## 元気に シニアカヌー教室

8月22日、おぐにスポーツクラブ設立準備委員会（舟山孝夫委員長）主催のシニアカヌー教室が、りふれ隣の親水池で開催されました。今回は、7日に開催された初回教室に次いで2回目で、これまで計12人が参加し、講師から漕ぎ方やバランスの取り方などを教わりました。同委員会では、「総合型地域スポーツクラブ」の設立を目指し、このほかにも、パークゴルフやヨガなどの教室を企画しています。



7/27

## 水と親しむ夏のひととき りふれで魚のつかみどり大会

七月二十七日、白い森交流センターりふれで、魚のつかみどり大会が行われました。このイベントは、地元住民で組織する実行委員会が主催したもので、大人から子どもまで約二百五十人が参加。川に作られた特設の池には、約千匹の岩魚が放され、参加者は、逃げ回る魚を懸命に追っていました。また会場には、小さい子どものための専用池も用意され、水と魚の感触を楽しむ子どもたちの歓声が、夏の空に響きわたっていました。

白い森発



八月四日、さいわい荘で、小国理容組合によるボランティア活動が行われました。これは同組合が社会貢献活動の一環として、毎年お盆とお正月の前に行っているもので、さいわい荘開所以来、二十四年間続けられています。この日は十三人の組合員が、施設利用者六十八人の散髪などを行い、鏡を見るお年寄りたちには、笑顔がこぼれていました。

8/4

## 暑い季節を快適に 小国理容組合がボランティア



## —この人に聞く—



置賜森林管理署  
署長 須藤文雄 氏

8月1日付け人事異動により青森県は津軽、五所川原市から、置賜森林管理署に着任しました。

置賜森林管理署の管内は、ここ小国町はじめ置賜地方全域に所在する国有林を管轄するという事で、管内を覚えるだけでも少々時間が必要かなと考えています。

地球温暖化により森林の役割が見直されてきていますが、京都議定書における国際約束期間のスタートの年である今年、二酸化炭素の森林吸収源対策としての森林整備事業が、民有林・国有林とも大幅に増えてきており、置賜森林管理署においても間伐事業を中心に積極的に取り組んでいるところです。ナラ枯れや、松食い虫被害も拡大してきていますが、「白い森の国おぐに」の豊かな自然環境を守るために、地域の皆さんとともに職員一丸となって努力してまいりたいと思っています。

8/22

体を動かし心も体も



8/17

## 命をいただく実感を おぐに舞波ハート

八月十七日、命について考えるサークル「おぐに舞波ハート」(間宮尚江代表)が主催する「命を止める授業」が、大宮地内で行われました。

当日は、中学生五人と、昨年この授業に参加した高校生二人のほか、県立保健医療大学の教授と学生六人も参加しました。生徒たちは、講師の指導を受けながら、実際に生きたニワトリを解体。その後、チキンカレーを作り、食べるまでの作業をとおして、命の重さや尊さを感じる体験をしていました。



緑豊かな景観と森林資源を守る

# ナラ枯れ被害の現状と対策

美しい緑に溢れた山林のあちらこちらに、枯れた木々が目立ってきています。「ナラ枯れ」と呼ばれるこの現象は、わずか体長五ミリの虫によって引き起こされています。そこで今月は、ナラ枯れの実態と、いま取り組んでいる対策のあらましについてご紹介します。

## ナラ枯れとは

ナラの木や、シイ・カシといった木が大量に枯れてしまう現象をナラ枯れといいます。一九八〇年代には、主に西日本で発生していましたが、この被害は今、大きく北上しています。

山形県内では、平成三年、当時の朝日村（現鶴岡市）でナラ枯れが確認されました。

新潟県から徐々に広がってきたナラ枯れは、当町では、平成十七年に初めて被害が確認されています。それ以降、わずか二、三年の間に、被害は全町的に広がり、さらに置賜管内にも拡大しています。

ナラ枯れを引き起こす原因となっているのは、「カシノナガキクイムシ」（略称カシナガ）という体長五ミリほどの虫が、木の中に持込む「ナラ菌」です。ナラ菌は、木の中で酵母を作り、その酵母をカシナガが餌にしているため、カシナガとナラ菌は互いに共生関係にあります。これによって、木の細胞が破壊され、枯れてしまいます。

カシナガは、六、八月に健康なナラに飛来し、幹から木の内部に侵入します。これによって目詰まりを起こしたナラは、七、九月にかけて、水分を吸い上げることができずに急速に枯れて





カシナガが入りフラスが出ているナラ(上)とカシナガの成虫(左)



しまいます。枯れたナラは、葉を木につけたまま茶色く変色し、一度と再生できなくなりません。カシナガが侵入したナラの根元には、フラスと呼ばれるオガクズのようなものが出るため、一目で確認できます。

## 町における

平成十九年度までの三年間をみると、被害総数は、

## いま進められている

国有林三、〇五一本、民有林二、七二〇本で、計五、七七一本となっております。しかしグラフのように、平成十九年度には、前年比八倍となる四、七四一本にまで、被害が拡大しています。本年度は、さらにこの四倍から、場所によっては八倍程度に被害が拡大していると予測されています。

## 駆除対策

現在、山形県と置賜森林管理署と町では、協力してさまざまな調査を行うとともに、いくつかのナラ枯れ対策を並行して進めています。

最も一般的な方法は、「薬剤の樹幹注入

による駆除」です。これは、幹にドリルで穴をあけ、専用の薬剤を注入するもので、被害木を伐採しなくても対処できることから、全国的に実施されています。また、地上約一・五メートル程度まで処理することで、約九〇%以上のカシナガを駆除することができま

す。しかし、これらの方法は、一本ずつ処理するため作業効率が低く、危険な急傾斜地では実施できないなどのデメリットがあります。

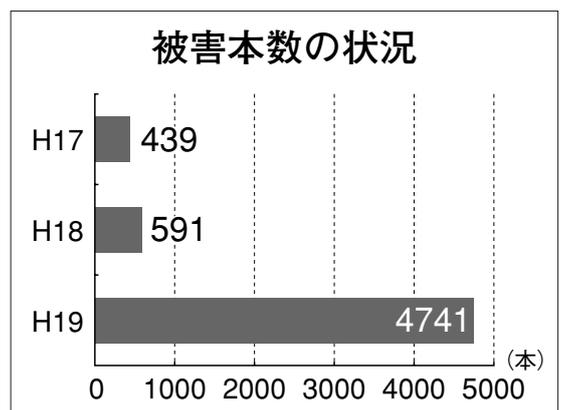
このほか、今、町内の森林で実証実験が進められているのが、「集合フェロモンを使った誘引駆除」です。これは、先に木に入ったカシナガが出すフェロモンに、他のカシナガが集まるという習性を利用し、おびき寄せて駆除する方法です。

これに加え、県がこれまで行った試験では、木が傷付いたりした時に、木から発生するにおい成分（カイ

ロモン）にも、カシナガが集まることが確認されています。

これらの習性を利用して、一定区域内で、集合フェロモンとカイロモンを使いカシナガをおびき寄せます。この際に、区域内のナラには、ナラ菌によって枯れないよう、あらかじめ薬剤を注入しておきます。

この方法は、一本ずつ駆除する点的な駆除方法ではなく、急傾斜地などを含んでいても実施できる面的な方法として期待されています。





虫を集めるトラップを使い、フェロモンの効果測定も行っている

す。実証実験は今年度から実施され、技術の確立にむけて、いま町内十三カ所で立木を使った調査が、十九カ所で丸太を使った調査が進められています。

また、場合によっては虫の侵入を防ぐため、幹をビニールで覆うこともあります。特に、今年になって報告が増えているクリへの被害対策としては、薬剤を使わないこの方法が好ましいとされています。

## 町の対策方針と

### 民有林への支援

ナラ枯れは景観の問題だけではなく、枯れた木が最後は根から倒れるため、土砂流出や雪崩など、森林機能の低下が懸念されます。

このため町では、平成十八年に、国有林と民有林で統一した対策を進めていくため、置賜森林管理署、県森林研究研修センター、森林組合、町の各担当者で構成する「森林病害虫連絡調整会議」を設置しました。これにより、関係機関が情報や認識を共有しながら、これまでの被害対策にあたってきています。

町のナラ枯れに対する方針では、駆除と健全性維持の二つの方策で対策に取り組んでいます。

駆除にあたっては、被害状況を考慮し、①駆除する区域と、②虫密度を低下させる区域を設定しています。

①では、被害拡大の防止を目的として、新しく被害が発生している場所や、特に維持が必要な森林公園などで、薬剤注入によって駆除を実施しています。昨年度までに、国有林一、四〇四本、民有林三七七本、合計一、七八一本について駆除しました。

②は、すでに被害が拡大していて、全ての駆除が難しい区域です。そのため、状況を判断しながら、駆除対策を行うと同時に、集合フェロモンによる誘引駆除などを実施し、区域全体のカシナガを減らす取り組みを行っていくこととしています。この区域では、今後、さまざまな実証試験の結果を待ちながら、その都度、効果的な方法を実施していきます。



森林病害虫連絡調整会議では、関係機関が集まって、最新の被害状況やその対策を確認

また健全性維持対策としては、森林公園や学校、宿泊施設の周辺で、五十八本の未被害木に薬剤を注入しています。

このほか、民有林への対策も、駆除と健全木維持の二つの観点から、それぞれの事情に応じて、町が指定する薬剤を使った処理に



## 水ストレスと 森林環境の変化

県森林研究研修センター  
森林環境部長

齊藤 正一 氏

小国町は、今年、県内で最も被害が拡大しています。これは、新潟県側からのカシナガの飛来に加え、植物の成長期（4～5月）と、カシナガの羽化期であり梅雨期（6～7月）に、平均降水量の約半分しか雨が降らなかったという要因があります。通常、ナラは数匹のカシナガでは枯れず、大量に入り込まなければ影響はありません。しかし、乾燥した気候の場合、少量のカシナガでも枯れてしまいます。今年、春から、この水ストレスを受け続けていたと思われま

す。またカシナガは、樹齢数十年という大きなナラに集まる傾向があります。昔は薪や炭として使っていた木が、燃料革命後、長い間放置されたことによって、カシナガにとって、居心地の良い森林環境になっているといえます。

県では、町と協力して行っている実証試験などをおして、最新の技術やデータを提供しながら、ナラ枯れ被害の防止に向けた取り組みを進めています。

ナラは、伐採した根から次の芽が出る「ぼう芽更新」が可能で、県や町では、今回のナラ枯れを、森林や里山へ目を向けるきっかけとし、伐採による被害対策への協力を森林所有者のかたへ呼びかけています。町では、このような取り組みを進めながら、引き続き、駆除と研究を継続し、適正な森林環境の維持・保全に努めてまいります。

カシナガは、急に発生した訳ではなく、全国的には、これまでも存在していました。県森林研究研修センターの齊藤部長によると、一九五九年には、旧温海町（現鶴岡市）で発生した記録がありました。当時は被害木をすべて伐採し、燃料として使ったため、わずか数年で被害がなくなりました。ナラは、伐採した根から次の芽が出る「ぼう芽更新」が可能で、県や町では、今回のナラ枯れを、森林や里山へ目を向けるきっかけとし、伐採による被害対策への協力を森林所有者のかたへ呼びかけています。町では、このような取り組みを進めながら、引き続き、駆除と研究を継続し、適正な森林環境の維持・保全に努めてまいります。

し、補助金を交付していません。これにより、町全体の森林資源を守るとともに、民有林と森林所有者を含めた全町的なナラ枯れ対策を進めています。

## 新たな駆除方法の研究と被害木の利用

町では、平成十九年度、被害木をきこの原木として利用できないかという可能性調査を行いました。これは、単に駆除するだけでなく、副産物として生産性のある活動に結びつけることで、一層取り組みやすい被害対策を確立できないか調査したものです。

ナメコ菌によって、ナラの繁殖を抑え、カシナガの駆除とナメコ生産の両立を目的としたこの実験結果では、全体のカシナガ生存率が〇～四〇%と、おおむね効果が示されました。今後は、実験条件の違いによって生じた数値のばらつきなどを解決できるように調査しながら、森林所有者も取り組みやすい方法として、さらに検討を重ねています。

## 被害の拡大を食い止めるため

# おぐにの熱い夏

八月九日、小国中学校グランドで、おぐに夏まつり実行委員会が主催する、第二十七回町民花火大会が開催されました。今回は、千五百発の花火が打ち上げられ、会場に集まった約三千人の観衆は歓声をあげながら、夜空に咲く大輪の花火

に見入っていました。また今回は、花火大会に先立ち、「第五回白い森音楽祭」が同時開催され、小国中学校と小国高校の吹奏楽部の合同演奏のほか、十二のバンドや個人が熱のこもった演奏を披露していました。



小国中学校と小国高校の吹奏楽部の合同演奏



## 平和への誓い新たに

八月一日、総合センターで第四十四回小国町戦没者追悼式が行われ、遺族や関係者など約七十一人が参列しました。参列者は、献花台に花をたむけ、町における戦没者四百六十七人の御霊に深々と頭を下げながら合掌し、平和への感謝と誓いを新たにしました。

## 大人としての新たな旅立ち

第六十回小国町成人式が、八月十四日、総合センターで行われました。今年は百二人のかたが成人を迎え、式には六十八人が出席。新成人代表の木村健一さん（古田）は、「育ててくれた家族、先生、地域のみなさんに感謝します」と謝辞を述べていました。



## 道路美化で大田表彰

このたび、伊佐領小学校（赤木雄一校長）の生徒が下校時に取り組んでいる道路清掃活動に対して、国土交通大臣表彰が贈られました。

同校では、クリーン作戦として、二十年以上にわたって、年二回、この活動を続けてきています。



八月二十日に仙台で行われた授賞式に、生徒代表として出席した井上大徳さん（六年）



## マタギ集落の夏を体験

八月二十三日～二十四日、小玉川公民館主催の「マタギ集落の四季体験ツアー夏編」が行われました。

ツアーでは、県外から参加した七人が、地元住民たちとともに、伝統的な焼き畑を体験。翌日には、森林セラピー基地「温身平」の散策などをおして、小国の自然に親しみました。

## 共同生活で深める絆

## 子ども体験教室「サマーキャンプ」

八月五日から七日にかけて、天狗平ロッジで子ども体験教室「サマーキャンプ」が開催されました。これは、学校の夏休みを利用して集団生活のルールなどを学んでもらおうと、町内の教育関係者などで組織する地域教育力・体験活動推進協議会が毎年開催しているものです。



今回は、小学三年生から六年生までの三十八人が参加し、川遊びやトレッキングのほか、協力し合って食事の準備などを行いました。また、キャンプには、ボランティアサークル「さくら」から小国高校の生徒五人も助っ人として参加し、身の回りの世話などを手伝っていました。

# 就任のあいさつ

小国町長 小野精一



このたび、私は、多くの町民のみなさまをはじめ、各方面からの温かいご支持、ご支援を賜り、三度、町政の舵取り役を担うこととなりました。誠に光栄ではあります。誠にご重責に身を引き締まる思いであります。まず、住民の声に謙虚に耳を傾けながら、公平、公正で、夢と希望の持てる町づくりに向かって、一生懸命

命取り組んでまいる覚悟であります。

今、我が国は、人口減少時代を迎え、少子高齢化が急速に進展する中であって、第二期分権改革が進み、歴史的な変革期の真っ只中にあります。

私たちの暮らしや産業、経済、教育、社会保障、医療や福祉などの各分野において、世界とのつながりのなかで、大きく変わろうとしています。

新しい町づくりのスタートにあたって、私は、次の三つの目標を掲げることといたしました。

一つには、「助け合い」と「お互い様」の心が響き合

うまちの実現です。

一つには、さまざまなる人（町民）が「力を合わせて創る」住みやすいまちの実現です。

一つには、未来を担う小国の子どもを「みんな育てる」やさしいまちの実現です。

この目標を実現するため、

①子育てしやすい

環境づくり

②未来の小国を担う

人づくり

③安全で安心な

暮らしの舞台づくり

④地域の資源を活用した

産業づくり

⑤健康、快適を実現できる

まちづくり

⑥自立を可能とする

地域づくり

この六つの政策を柱として、各種施策を確実に実行してまいります。

よく、人と人との「絆」が薄れてきたと言われます。しかし、小国町には、雄大

で、美しい自然、今なお、根強く残る地域の連帯と助け合いがあります。これは、古くから先人達が、営々と引き継いできた尊い小国の風土であり、文化であります。

私は、今後とも、町民のみなさまと力を合わせ、ふるさとの未来を考え、新しい時代に大きく飛躍する「白い森の国おぐに」を構築してまいります。

行財政環境は、依然として厳しいものがありますが、いたずらに委縮、縮小傾向にのみ走ることなく、町づくりの目標と、政策の柱に沿って、大胆かつ果敢に、その実現にむかって挑戦してまいります。

最後に、町民皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈りし、町政運営に対する一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。



### 「交通安全大会」開催

八月二十四日、町民体育館で、小国町交通安全推進協議会（小野精一会長）が主催する小国町交通安全大

小国町の交通安全標語  
**ゆずり合い  
事故のない町  
つくろうよ**  
小国小学校四年 工藤祐哉さん

会が開催されました。

これは、交通安全への意識を高めてもらうことを目的に開催されたもので、当日は約五百人が参加。大会では、県警察音楽隊の演奏や、交通安全をテーマとした寸劇が上演されたほか、町の交通安全標語を採択。約四百点の応募標語の中から、小国小四年の工藤祐哉さんの作品が発表されました。

また、交通安全母の会の東海林テイ子会長が、

●子どもと高齢者の交通事故防止

●人も車も自転車も交通マナーアップの実践

●後部座席を含むシートベルト・チャイルドシート  
の着用の徹底



### ●飲酒運転の徹底追放

の四つを柱とする大会宣言を行い、満場の拍手で承認されました。今後、この標語や大会宣言などに基づき、事故防止などに向けた各種の活動が繰り広げられることとなります。

### ドライバーに

### 事故防止を呼びかけ

八月十二日には、間瀬パーキングエリアで、ドライバーに安全運転を呼びかけようと、啓発活動が行われました。この活動は、交通安全母の会やかもしかクラブなど四団体が協力して毎年実施しているものです。

### 子どもたちにも 交通安全の意識づけ

さる七月十六日には、北部小中学校で、全校生徒が参加して、小国地区交通安全協会（小山和夫会長）による交通安全教室が開催されました。教室では、小国警察署や地元企業の協力のもと、学校前の県道を通行止めにし、実際に大型ダンプを使った巻き込み事故の再現や、制動距離実験が行われました。



## 募集

### 町営住宅入居者募集

■小坂町団地 3DK1戸  
▼対象 所得制限がありませんので、お問い合わせください。

▼家賃 所得と家族構成により決定

### 勤労者住宅小坂町団地

2K1戸

▼対象 町内で働くかた

▼家賃 三万三千元

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 9月9日(火)

■入居時期 9月下旬以降

■問合せ先 地域整備課へ

## 催し

### みんなで観よう！狂言教室

■日時 9月17日(水)

午前10時55分～12時30分

■場所 小国小学校

■内容

大蔵流山本東次郎家狂言

方による狂言公演など

▼演出 柿山伏、附子

▼出演 山本東次郎氏他

■その他

どなたでも無料で観覧できますので、会場に直接お越しください。駐車場がありませんのでご注意ください。

■問合せ先 教育委員会事務局へ

### 食の安全フォーラム

県産牛肉を中心としたBSE対策など、「食の安全・安心」の確保について意見交換を行います。

■日時 9月10日(水)

午後1時30分～3時20分

■場所 置賜総合支庁

■内容 基調講演、パネルディスカッション、意見交換など

■その他 入場無料ですが、事前に申し込みが必要です。希望されるかたは、9月5日までに電話で申

し込んでください。

■申込先 置賜保健所生活衛生課 (☎0238-22

3750) へ

### つづつ豊穣祭り

■日時 9月23日(火)

午後1時～5時

■場所 いのちのアトリ

エ(大石沢地内)

■内容 町で活動する雑穀生産グループの紹介、雑穀畑などの見学、雑穀

お菓子の振る舞いなど

■問合せ先 実行委員会(郷田 ☎65-2775) へ

## ご案内

### 特定健診を受けましょう

メタボリックシンドロームは、生活習慣病の大きな原因といわれています。予防・解消のため、進んで健診を受けましょう。

■対象者 平成21年3月31

日現在で、40歳～74歳までのかた(後期高齢者医療被保険者を除く)

■申込方法 国民健康保険

のかたは、町民課へ申し込んでください。それ以外の健康保険に加入しているかたは、各医療保険の案内にしたがつてください。

■その他 受診の際には、保険証と受診券を忘れずにお持ちください。

■問合せ先 町民課へ

### 住宅・土地統計調査

10月1日、5年に一度の住宅・土地統計調査が行われます。当町では、14地域にお住まいのかたが対象となります。対象世帯には、調査員が調査票を持って伺いますので、調査票への記入をお願いします。

■調査票配布時期

9月23日(火)～9月30日(火)

■問合せ先 総務企画課へ

## 総合センター図書室から

### ●新着図書

- ◇ハリー・ポッターと死の秘宝  
J・K・ローリング
- ◇そうか、もう君はいないのか  
城山 三郎
- ◇最後の言葉  
拓植 久慶
- ◇交渉人  
五十嵐貴久
- ◇養老訓  
養老 孟司
- ◇白川静の世界 漢字のものがたり
- ◇夢をかなえるゾウ 水野 敬也
- ◇フードプロセッサーでお菓子革命  
加藤 千恵
- ◇「日本一の村」を超優良会社に変えた男  
溝上 憲文

●休館日 毎週月曜日、9月15日

## 子育て支援センターから

### ☆あそびの広場☆

- 日程 9月9日、16日
- 子育て講座「歯科教室」  
30日、10月7日
- 時間 午前10時～
- 場所 健康管理センター
- 対象者 0歳から入園前  
の子どもとお家のかた

総合センター  
9月11日、25日  
おぐくに保育園

### おぐくに保育園

- 時間 午前10時～
- 対象者 0歳から入園前  
の子どもとお家のかた

### ☆タッチケア

- 日時 9月12日(金)  
午前9時30分～
- 場所 健康管理センター
- 内容 ベビーマッサージ
- 対象者 歩く前の子ども
- 問合先 子育て支援センターへ

## 今月の納税

今月の口座振替日は、次のとおりです。振替日前日まで、指定口座に入金してください。

- 9月26日(金) 水道料
- 9月30日(火) 後期高齢者保険料3期、国民健康保険税3期、固定資産税3期、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料など
- 問合先 税務出納課へ

## 求人情報

左の表は8月15日現在の求人内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。※詳しいことは、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
合資会社山佐佐藤農機店	営業・販売・整備工	2人	8:30~17:30
山和建設(株)	土木施工管理技士ほか	4人	8:00~17:00
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
ひさご電材(株)小国工場	電気部品製造	1人	8:30~17:30
(有)蔵王ストアー	レジ係	1人	8:45~18:00
(有)東部開発	農作業全般	3人	8:00~17:00
猪野電気工事(株)	内・外線工事作業員	2人	8:00~17:00
カインドネス(有)おぐくに調剤薬局	医療事務員	1人	8:30~17:30ほか
(有)小国測量設計事務所	測量助手	2人	8:00~17:00
安部工業(株)	型枠大工ほか	2人	8:00~17:00
大河内産業(有)	砂利プラント運転士ほか	7人	8:00~17:00
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
特定非営利活動法人まんまる	支援員	1人	8:30~17:00
電興(株)	薬剤師	1人	8:50~17:30
(株)横川建設	土木施工管理技士ほか	4人	8:00~17:00
(株)ジェイサービスおきたま	配送及び給油所業務	2人	8:00~16:45ほか
(株)船山工務店	土木施工管理技士	2人	8:00~17:00
(株)ジャパクリエイト山形営業所	半導体製造、装置製造	2人	8:30~16:40ほか
(株)シーテック山形営業所	機械設計エンジニアほか	3人	9:00~18:00
(株)スタッフサービス	機械系生産技術ほか	2人	8:30~17:00
味処藤よし	ホール・接客	1人	9:00~14:00
酒味庵まつばら	居酒屋での接客	1人	17:00~21:00ほか
(有)コンビニエーションオレンジ	コンビニ・カラオケ店員	3人	9:00~13:00ほか
(株)ノウエル	設備業務及び運転手	1人	8:30~17:30

## 保健カレンダー

■問合せ先 健康福祉課へ

乳幼児健診	月日	受付時間	対象(生まれた月)	場 所
4カ月児健診	10/31	13:00~13:15	平成20年6月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
1歳児健診			平成19年10月	
3歳児健診	10/17	12:30~13:00	平成17年2月~4月	
ポリオ予防接種	10/29	13:00~13:30	平成20年1月~4月	

### ~町立病院の今後を考える~

## 町立病院に関する座談会

小国町立病院では、今年度「病院改革プラン」を策定することとしています。

病院のおかれている現状の説明と、改革プランに対するみなさんのご意見をお聞きする場として、下記のとおり座談会を開催しますので、ぜひご参加ください。

すべての会場に院長が出席し、健康相談やミニ健康講話なども実施する予定です。なお、地区割りはしませんので、日程と時間の都合がつく範囲で、最寄りの会場にお越しください。

### ■日 程

- 9月9日(火) 長沢公民館
- 9月11日(木) 沖庭小学校多目的室
- 9月12日(金) 叶水基幹集落センター
- 9月17日(水) 沼沢公民館
- 9月18日(木) 伊佐領公民館
- 9月24日(水) 玉川コミュニティセンター
- 9月26日(金) 総合センター
- 9月29日(月) 健康管理センター

■時 間 いずれも、午後7時~8時の予定です。

■問合せ先 町立病院へ

## 古田集落 通行止めのお知らせ

古田地内の流路工事に伴い、道路の掘削などを行うため、次のとおり通行止めとなります。通行されるかたはご注意ください。

■場 所 町道若山金目線

(古田歌舞伎伝承館前)

■期 間 9月8日(月)~10月17日(金)

(約40日間の予定です)

■迂回路 町道古田1号線(集落内を迂回することになります)

■問合せ先 国土交通省北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所(☎62-2567)または、小国開発(株)(☎62-2297)へ

### 法務局からのお知らせ

## 証明書交付窓口を長井に設置

法務局では、9月29日(月)から証明書交付窓口を長井市に設置します。

■時 間 平日の午前9時~正午、午後1時~4時30分

■場 所 長井市役所第二庁舎1階

■その他 登記事項証明書1通1,000円、印鑑証明書1通500円となります。

■問合せ先 山形地方法務局米沢支局(☎0238-22-2148)へ



## 相談

### 年金相談

- 日時 9月17日(水)
- 受付 10:30~14:30
- 相談 11:00~
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 社会保険事務所職員
- 問合せ先 町民課へ

### 人権相談

- 日時 9月26日(金)
- 受付 10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民課へ

### 身体障害者無料巡回相談

手帳交付申請に必要な診断や補装具交付など、医師による診査・相談を行います。

- 日時 9月30日(火)
- 受付 13:00~15:00
- 場所 健康管理センター
- 対象者 18歳以上のかたで、

下記に該当するかた

- ①聴覚、肢体(手・足)に障害があり、身体障害者手帳交付を希望するかた
- ②すでに手帳を所持していて、障害の程度が変わったかた、補装具の交付・修理を受けたいかた(骨格構造義肢、電動車いすは除く)

#### ■持参するもの

印鑑(すでにお持ちのかたは身体障害者手帳・補装具もお持ちください)

- 問合せ先 健康福祉課へ

## 小国町防災訓練

- 日時 10月5日(日) 9:00~12:15
- 場所 あけぼの地内
- 内容 煙ハウス体験、バケツリレー訓練、消火器訓練、応急処置医療救護、炊き出し訓練、応急給水訓練、県防災ヘリコプターもがみによる救出救助訓練など
- 問合せ先 町民課へ

## 防災フェスタ

- 日時 9月21日(日) 9:00~
- 場所 西置賜防災センター(長井市平山)
- 内容 地震体験、脱出訓練、消防団音楽隊の演奏、すみれ保育園園児によるアトラクションなど
- 問合せ先 西置賜防災センター(☎88-1839)へ。

## 火災発生 異常警報発令中!

今年に入り、町内において例年を大幅に上回るペースで火災が発生しています。火を取り扱う場合は、その場を離れずに、必ず火が消えるまで確認しましょう。

- 問合せ先 町民課へ

## 置賜総合支庁西庁舎(長井市)で耐震改修工事を行います

県では、置賜総合支庁西庁舎において防災拠点施設耐震改修工事を行います。

工事期間中は、西置賜総務課・西置賜税務課・西置賜用地課・すまい情報センター・健康相談室が、庁舎内の仮事務所に移動されます。みなさまのご協力をお願いします。

- 工事期間 9月中旬~平成21年3月31日
- 問合せ先 置賜総合支庁西庁舎(☎88-8204)へ

## 職場を訪ねて ⑤

### ～日本重化学工業(株)小国事業所～

今回は、日本重化学工業(株)小国事業所の「金属事業部開発部」を訪ねました。



金属を溶かす装置を扱う山田さん。その視線は、世界との競争を見据えている

日本重化学工業(株)では、長年培ってきた合金鉄技術をもとに、電池材料や高純度金属など、現代に欠かせない電子材料を製造しています。

三重県出身で、今年4月から開発部で働いている山田好伸さんは、「小国には初めて来ましたが、星空の美しさに驚いています。以前は、国の研究機関である産業技術総合研究所に勤めていました。しかし、基礎研究よりも世界に通じる材料開発がしたくて入社しました。今は、次世代の電池材料の開発に携わり、世界のどこにもない物質を生み出すために日夜実験をしています。小国発の世界一を目指して世界最先端の研究・開発をこの小国でしています」と話してくれました。

## 戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

あけぼの	佐藤	優奏	(恵美 一来)
荒沢	今盛	雅斗	(直美 幸紀)
兵庫館	舟山	竜輝	(篤史 史美)
小国小坂町	齋藤	郁斗	(達也 香)
岩井沢	岸	慧人	(智則 江)

結婚おめでとうございます。

(米沢市 伊藤大介  
荒沢今盛 香織)

おくやみ申し上げます。

岩井沢	藤井	孝司	(55)
あけぼの	佐野	吉友	(77)
荒沢	山口	重	(84)
緑町	五十嵐	英樹	(45)
増岡	佐藤	安男	(81)
岩井沢	舟山	喜久男	(95)
岩井沢	渡部	市助	(83)
田沢	安部	孝次郎	(65)
沼沢	大谷	好市	(74)
緑町	木村	ミチヨ	(92)
古田	木村	一二	(89)
岩井沢	新野	シカ	(102)
沼沢	佐藤	マツ子	(61)

## 人口のうごき

人口 男…4,578人(-12)  
女…4,818人(-4)  
計…9,396人(-16)  
世帯数 3,264世帯(-1)  
平成20年7月31日

## 編集後記

北京五輪が開幕した八月、町には、東関部屋の一行が来町。多くのかたが、力士に声援を送っていました。土俵では厳しい顔でも、稽古後は、一転、やさしい笑顔で子どもと触れ合っていました。(片桐)

